

市立浦和高等学校野球部通信

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 7. 2. 7

発行ナンバー 1 1 5 5 号

(北村主将の代・53号)

2月になりました

2025年がスタートしたと思っていたら（あっという間に）1月が終わっていました（それぐらい1日1日過ぎていくのが早いです）。

今年の埼玉県は（天候の影響を受けることなく）グラウンドを使用できる日々が続いています（備忘録）。これは市高に限ったことではないので、今シーズンは県内どのチームも仕上がりの良い状態でスタートすると思います（市高も遅れないようにしなければなりません）。

先日、2件続けてこのような話をされました。共に小学校6年生の息子（野球少年）を持つ保護者の方の話です。今後、中学校の野球部に入部しようと考えていたが、入学前の段階で、土日の活動はほとんどしていないという情報が・・・息子は思う存分野球がしたいと言っているので、今大慌てで（中学校入学後）外部で活動するチームを探している・・・

考えさせられます。

学校というのは、その中に少しでも多くの「組織」があった方が良く私は思います（クラス、学年、委員会・・・）。部活動というのはその中でも大事な「組織」だと思うのですが・・・（1つ1つの組織を良くしようとする動きが「学校」全体を良くすることにつながるから・・・）また、子供達の「活動したい」という願望を、大人達が自分達の都合で閉ざしてしまう・・・これで良いのでしょうか？外部でというのは（経済的な面などで）活動できない子供達を生み出す形になってしまうのが明らかです。

時代が違う・・・それは大人の勝手な逃げ道、私は「部活動」を頑張ります！

その通り

年齢一緒、苗字も一緒・・・

「イチロー」か「サトシ」の違いだけなんです、こうも違うとは・・・(笑)

イチロー選手が日本とアメリカの両方で殿堂入りを果たしました。確かに・・・野球界への貢献等、計り知れないものがあると思います。

受賞後のスピーチの中でとても印象に残った言葉がありました。「若い選手達に伝えたいことは？」という質問に対して・・・

「自分とは比較にならないぐらい才能に溢れた人がいっぱいいます。でも、それを生かすも殺すも自分自身だということ。自分の能力を生かす能力というのは、また別のところにあるということを知っておいてほしいです」

「その通り！」

この言葉、私が（20年以上）高校生の野球に接してきて感じていることそのものです。

自分の能力を生かす能力＝継続して地道な努力を続けることができるか・・・私はそんな感じでとらえています。高校野球の世界（＝アマチュア）は、これで才能溢れる人達とやり合うことができる（補（おぎな）える）のだと思いますが（だから面白い）、プロの世界は、才能溢れる人達がさらにどれだけそのような努力を積み重ねることができるか、という世界なのだと思います。

ぜひ、自分の能力を生かす日々を送って欲しいと思います。